



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第9号 2021年3月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して2部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース3月号へようこそ。様々な寄稿記事や最新情報を皆さまにお届けいたします。

今号では、ワイズメネットの活動、IHQからのニュース、そして「良い話を伝えよう」が掲載されています。国際協会の年央会議は、韓国で開催される予定でしたが、コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりました。

来年度の次期国際会長と次期国際議員の選挙が1月末に終了し、多くのクラブが投票権を行使しました。結果は、年央会議で発表されました。K C サムエルと各地域を代表して選出された方々、おめでとうございます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。皆さんと皆さんのワイズメンズクラブ国際協会での働きに神の祝福がありますように。年央会議での重要な結論は、議事録を通して公開されます。

封鎖されていたいくつかの地域が、物理的な活動を開始しています。ワクチンが世界の生活を変え、また会えるようになる日が来ることを期待しています。クラブの中や活動を通しての交わりが恋しいと思います。私たちは、皆影響を受けていますが、日々の生活の中の小さなことや小さな輝点の中に光を見出す力が、これほど大切なものになっていることはありません。

ありがとうございました。どうぞ安全にお過ごしください。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQ ニュース - 2021年3月

国際協会の年央会議が2月19日から21日まで、Zoomを利用して開催され、国際選挙の結果が発表されました。結果は、[こちら](#)をご覧ください。

2020年7月以降、パンデミックとそれに伴うエクステンションにとって不利な環境にも関わらず、26の新クラブがチャーターされました。リストは、[こちら](#)をご覧ください。

新しい国際兄弟クラブ(IBC)の関係が確立され、また、既存の関係も強化されていて、このような困難な時期に私たちを励ましてくれています。IBCの詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

注目すべき取り組みが、米国エリア・トレードセントラル・ワイズメンズクラブ(元トレードクラブ。世界初のワイズメンズクラブ。)で行われています。他のエリアにおいて最も古いクラブたちとIBCを締結しようという計画です。YMCAグレーター・トレードのCEOであるブラッド・トフト氏、創設者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの孫であるアラン・オットウェル氏を含め、トレードセントラルクラブが新たなメンバーを迎えて、活発な活動を再開するのを見るのは、心温まります。

すべてのクラブと区には、2021年3月31日までにポータルバズシステム上の会員情報を更新し、国際会費を送金するようお願いしています。国際協会は、2022年2月までの半期報告書に基づいて、100周年記念会員名簿を作成する準備をしています。デジタルの100周年記念会員証が全会員に発行される予定です。

国際書記長
ジョース・ヴァルギース

ワイズメネット - 3月強調月間テーマ

私は、ワイズメネット 2020-2022 の国際主任であり、ワイズメンズクラブ国際協会の一員として国際的にワイズメネットに奉仕できることを大変光栄に思っています。



デンマークのワイズメネットクラブの活動についてお話しします。レンヴィック・ワイズメネットクラブには 38 名の会員がいますが、とても安全で安心でき、対等な関係を保っているため、会合を楽しんでいます。私たち

は、同じ長所も短所も持っていませんが、一緒にいると非常に強くなります。ほとんどのワイズメネットは、ワイズメンとともに運営するリサイクルショップで良い働きを行っています。収入は、地元、国内、国際的な目的に寄付され、もちろん国内と国際のワイズメネットのプロジェクトにも寄付されています。私たちの現在の国際プロジェクトは、ウクライナのザポルィヅィアの脆弱な子供たちのためのものです。このプロジェクトは、健康的なライフスタイルの促進のためのツールとして、スポーツと非公式教育の可能性を創造することを計画しています。私たちは、孤児や貧しい子供たちの世話がされている地域センターの敷地内に、ジムの器具を備えた屋外スポーツの遊び場を作る手助けをします。それは地域社会の素晴らしい資産となるでしょう。作業は、順調に進んでおり、ワイズメネットのプロジェクトコーディネーターであるジョイ・マクナマラは、ウクライナのプロジェクトリーダーと良好なコミュニケーションをとっています。

クラブ内では、生活がうまくいっているときはもちろん、困難に直面したときにも、重要なネットワークを持っています。

デンマークのスズにある私たちの娘クラブの例ですが、何年か前に、ワイズメネットの皆さんを招待しました。足のケアを行うために、桶とタオルを持ってきてもらいました。写真でおわかりのように、皆さんには、とても喜んでいただき、その後は、気持ち良く会議が行われました。難しい話し合いもあったかもしれませんが、みんな足元がスッキリしていました。ワイズメネットは、世界中に友人がいて、決して一人ではなく、素晴らしい幅広いネットワークの一員なのです。



ワイズメネット国際主任
グレーテ・ベクガード・トムセン

新型コロナウイルス - 特別ファンド

新型コロナウイルスの大流行が世界的な健康に与える影響と、その健康、経済、社会的影響が広範囲に及んでいることを認識し、ワイズメンズクラブ国際協会は、韓国地域と共同で、昨年、異例の額のマッチングファンド助成プログラムを創設しました。

この危機的な時期に最も弱い立場にある人々を支援し、ウイルスのさらなる感染を防ぐために、コミュニティレベルでの関与と行動を評価する国際的な連帯を示すものとして設立され、21 のプロジェクトへの助成金が承認されました。2 つの例を挙げます。

カヌールメトロ・ワイズメンズクラブ(西インド区)

国の公式キャンペーン

「Break the Chain(連鎖を断ち切る)」に参加し、地元のバス停近くに公共の手洗い場を設置し、行うべき重要な個人の防護策につ



いての公共サービス情報の看板を掲示するなど、ウイルス感染を抑えようとしてきました。交通量の多い大都市圏では、カヌールメトロクラブの活動によって直接影響を受ける人の数は、100 人を超えた推測されています。

ハワイ区

ホノルル YMCA のエッセンシャルワーカーの子どもたちのためのデイケアプログラムへの財政的支援を行いました。新型コロナウイルスの危機の間、重要な業務に従事していたために保育を必要とする低所得者層の 50~100 世帯が恩恵を受けました。

21 のプロジェクトの詳細は、[こちら](#)をご覧ください。



国際協会のために働いてくれている私たちのリーダーの年央会議での写真です。



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



人間の本质の栄光を示す

南東アジア区・香港部のペニンシュラ・ワイズメンズクラブ(COP)は1968年に設立され、現在では香港で4番目に古い奉仕クラブとなっています。COPは、常に香港コミュニティへの社会奉仕活動に力を注い



できました。新型コロナウイルスとの戦いで、逆境に試されてきた自分たち自身とコミュニティの強さをより理解し始めていることに気がしまし

た。新型コロナウイルスは、人々の社会的な距離を遮断し、多くの経済発展に影響を与えてきましたが、人間の愛と信念を遮ることはできません。

COPのメンバーは、そのネットワークを利用して、さまざまなセクターと連絡を取り、資金や資源を調達しています。彼らの反応は、私たちに



興奮をもたらすものでした。資金面では、COPの資金を使う以外にも、何人かの人が寄付をしてくれました。不足していたマスクや手指消毒剤の寄付もありました。また、米や缶詰の寄付も集めることができました。

同時に、香港の中国YMCA傘下の多くの地域センター、ボランティア団体、教会が積極的にCOPに協力しています。集会制限令のもと、まとめて配布したり、直接家庭に届けたりと、さまざまなルートを利用し



て、困っている人たちに物資を届けました。2020年3月から現在に至るまで、COPは、緊急のニーズに基づいて14の組織・学校を対象にした活動を行ってきました。これまでに、

1,000人以上の人々(知的障がいのある人や独居高齢者を含む)、400の低所得者世帯、100のひとり親世帯、100人の路上生活者を支援し、17,000枚以上の大人用マスク、2,000枚以上の子供用マスク、500枚以上の布マスク、400パック(1kg/パック)の米、多数の食事、缶詰、麺類、手指消毒剤を提供してきました。

香港・ペニンシュラ・ワイズメンズクラブ会長
セシリア・ロー

Tell a good story.



ブルガリアのイントラスト・プロジェクト

ソフィアイースト・ワイズメンズクラブは、スター・オブ・ホープ財団とワイズメンズクラブ国際協会デンマーク区と共同で、10年前に、スター・オブ・ホープ財団に寄贈され

たソフィアの古い家を修復するという崇高な目標を掲げて活動を開始しました。アイデアとして形になった大きな夢は、関係者全員の心を掴むプロジェクトへと成長しました。リノベーションの目的は、社会福祉施設の若者たちのシェルター住宅にすることでした。18歳になって社会福祉施設を出る若者たちは、ブルガリアの市民として自分自身の面倒を見られるようになるための特別な支援を必要とします。

ソフィアイースト・ワイズメンズクラブは、保護施設の若者のケアを重視し、「未来の家」プロジェクトの実施の積極的なパートナーとして協力しています。ソフィアイースト・ワイズメンズクラブは、ワイズメンズクラブ国際協会デンマーク区に申請し、家の修復とそれをシェルターとコミュニティセンターとして使うことを支援するイントラスト・プロジェクトが誕生しました。



このプロジェクトの下、デンマーク区は5,000ユーロを集め、この家で開催されたスター・オブ・ホープ財団の2020年のクリスマスチャリティバザーの席上、ソフィアイースト・ワイズメンズクラブを通じて、財団に寄付しました。象徴的な小切手が、ソフィアイースト・ワイズメンズクラブのイワン・パブロフ会長から財団のターニャ・コンニャロワ常務理事に贈呈されました。このことは、イントラスト・プロジェクトによる家の改修工事が順調に進捗していることを示しました。

ソフィアイースト・ワイズメンズクラブ書記
ミラ・パブロフ